

教科書調査研究の観点

発行者番号・略号	教科書名	記号・番号
9 開隆堂	社会と情報	社情304

1 内容

第1章の「社会と情報」は、学習全体の導入の章としての位置づけを持たせ、具体的な「社会と情報」の学習に向けての「構え」が持てるように配慮されている。

第3章全体を通して、情報社会を支えている情報通信ネットワークの基礎的な技術について幅広く取り上げて説明されており、情報社会へ参画する際に必要十分な知識を学べるように配慮されている。

第4章では、情報社会を考えるためのルールやモラルについて質、量ともに充実した内容が、体系的に記述されている。また、具体的な事例を織り込みながら生徒が主体的に考えられるようになっている。

第5章1節では、情報社会の在り方やそこに内在する課題を取り上げ、情報通信ネットワークや資料などを活用して討議しながら、情報化が社会に及ぼす影響についての認識を深める学習ができる工夫がされている。

2 分量・構成

原則として見開き（2ページ）1時間の構成になっており、適切な分量で無理のない授業展開が行える。

単元配列は、各学校の指導計画に即して教科書を利用しやすくするため、基本的には学習指導要領に示された内容項目に沿って配列してある。併せて、単元の順序を入れ替えても対応できるように配慮されている。

各学習項目内の構成は、問題解決的な学習に対応できるようにするため、学習への興味・関心を喚起し考えるきっかけをつかむための「投げかけ」による導入（虫メガネマークの文章）、基礎的・基本的な内容を記述した本文文章や図表・写真などの資料、③「問」や「実習」などの実践活動、という流れを基本としている。

必要に応じてコラムが設けられており、本文の参考となる内容や話題性のある内容などが掲載されている。

巻末資料には「用語集」や「法令集」があり、より学習の充実が図れるように配慮されている。

章末では、「要点のまとめ」や「章末問題」、「チャレンジ」を取り上げ、学習の整理ができるようになっている。

各見開きの右ページには爪見出しを付けて、ひと目でどここの項目を学習しているのかがわかるように、また、ページを開く際のめあてになるように配慮されている。

3 表現・表記・使用上の便宜

インターネットでのパケットによる情報のやり取り（p.58）など、言葉では分かりにくい内容が見開きで効果的に図解され、イラストをふんだんに使ったビジュアルな紙面づくりがされていて、生徒の学習意欲を誘うような工夫がされている。

各小項目（節の2つ下位の項目）には「学習の目標」が示され、生徒が目的を常に意識しながら学習できるよう工夫されている。

各小項目の冒頭には問題提起（投げかけ）の文章が配置されており、生徒が課題意識を持って学習できるように、また、教師にとっては動機づけ・意欲づけが図りやすいように工夫されている。

「Linkマーク」と「情報モラルLinkマーク」があり、他のページに関連する学習内容が記述されている場合に該当ページがどこであるのかが分かるように記載されている。

学習効果を高めるために、「問」・「実習」・「実習例」・「情報BOX」・「参考」などのマークを使用し、学習活動や提示した資料の性格や扱いなどが分かるように工夫されている。

本文の記述は、基礎的・基本的な内容の理解がしやすいように親しみやすい敬体表記でかつ平易な表現がされている。また、見て、読んで、学習内容や学習過程が分かるように、本文文章と図版・写真などのバランスに配慮し、かつ図版・写真の表現方法についても工夫されている。

4 その他

全体的に専門的な内容に深入りし過ぎず、イラストを使った解説によって分かりやすく記述されている。

体験的で問題解決的な学習を意識した紙面構成になっているため、新しい教育課程がめざす授業が展開しやすい。特定の情報機器やソフトウェアの操作技術習得に偏らないように配慮されている。